

たまボラ



～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

発行：東大和市社会福祉協議会 所在地：東大和市中心3-912-3 電話：042-564-0012(代表)

東大和ボランティア・ 市民活動センター情報紙 「たまボラ」発行！！



ボランティアグループ「ほけっと文庫」の活動より

たまボラ創刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

このたび、東大和ボランティア・市民活動センターより待望のボランティア通信が発行されることになりました。平成28年度は東大和ボランティア・市民活動センターの新たな幕開けとして、ますますの充実を図ってまいりたいと思います。「情報社会」と言われる昨今、いかにして情報を広く伝えるかが重要なカギとなります。この「たまボラ」を通じて、広く皆さんに情報が伝わり、東大和のボランティアの和（輪）がさらに大きくなっていくことを期待します。

東大和市社会福祉協議会会長 中澤 正至

◆ボランティアセンターの方針

その1 皆さんに活用してもらえるセンターを目指します。

広報紙の発行、ホームページのリニューアル、各種イベント等を通じまずはボランティアセンターを知ってもらえるようにします。

その2 幅広いボランティア・市民活動支援をすすめます。

多様なボランティアグループや活動者の皆さんと協働できるセンターを目指します。

その3 市民主体の運営を目指します。

センターの運営に市民の皆さんが積極的に参加できるようすすめ、地域に根差した活動をめざします。

シリーズ きらっ!!ボランティア ぽけっと文庫・上田みどりさん

Vol.1

第1回のご紹介は上田みどりさんです。上田さんは新堀地区在住で、「ぽけっと文庫」をおよそ30年にわたり続けています。（平成22年からは子育て支援文庫）上田さんの思うボランティアについてうかがいました。

【始めたきっかけ】

娘が小学校に入学した時、第三小学校のなかよし学級のボランティアを行うために社協に登録しました。昭和62年のことです。この活動は現在まで続けています。

ぽけっと文庫は同じ昭和62年、新堀地区会館が出来た際、PTAで図書室の設置をお願いしたことをきっかけに開始しました。絵本の読み聞かせなどが主な活動でした。当時、パソコンもワープロもない時代、手書きで入れてほしい本のリストを作りお願い

したことを覚えています。当時は幼稚園児から小学校低学年の子どもが主な参加者でした。その後、主任児童委員などもやらせていただきましたが、一連の子ども達への活動の原点はボランティアです。



【今やっている活動】

平成22年度からぽけっと文庫を子育て支援の文庫としました。当時、清原市民センターに図書館が出来たため、それまでの活動がひと段落した感がありました。一方、子育て中のお母さんとあかちゃんには地域の居場所がなかなかありません。その受け入れ先となれたらよいと思いました。

今はここにくる子どもたちが本当の孫のようです。子育て支援文庫をはじめた当初に参加してくれた子が今は小学校2年生。たまに学校などで再会するのが楽しみです。



文庫では手作りのおもちゃで自由に遊び、その中で「わらべうた」など伝えていけたらと考えています。お母さんたちがほっとできればいい、お母さん同士が交流出来ればいいと思っています。幼稚園に上がるころには離れていきますが、また新しい出会いがあったり、2人目、3人目のお子さんをつれて来てくれるお母さんもいます。

【上田さんが思うボランティアの姿と魅力】

ボランティアなので、自由に温かい雰囲気で行うことが基本です。一方で無責任ではいけないと感じています。ボランティアであっても「やります」と答えた以上は責任が生じます。文庫でも子育ての悩みなどを聞くことがありますが、無責任な回答はしません。受容、傾聴といった心構えが大切だと思います。

【これからに向けて】

若い世代は仕事もあって、なかなかボランティアまで手が回らないことと思います。

しかし地域の方と交流した経験は、必ず将来どこかで活かされると思います。忙しくても、自分に合った魅力ある活動なら続けられるでしょう。

子育てには地域の力が不可欠です。多くの大人が周囲の子ども達と交流を持ちたいと思っているのではないのでしょうか？しかし、いきなり声をかけたら「不審者」です。まずはイベント参加等を通じ、子どもにとって「知っている大人」になることから始めてほしいです。

【ボランティアセンターへの期待】

ボランティアには資格も特技もいりません。子どもが好きなら子ども、お話が好きなら話し相手など、その人の「好き」に合わせて活動すればいいと思います。ボランティアセンターは個々の「好き」をボランティアにつなげる活動をしてください。皆必ず個性があります。ボランティアへの参加に二の足を踏むのは、規則や堅苦しさ、わかりにくさによると思います。これからのボランティアセンターはそれを一新して行ってほしいです。

また、よい例を皆に発信することも大切です。「ここではこんなに良い活動をしていますよ」というメッセージを広げてください。特に現場で生の声を拾いそれを発信してほしいです。情報のやりとりがあつてこそ、個々のボランティアとボランティアセンターの関係が深まります。「打てば響く」ボランティアセンターになって欲しいです。

.....

上田さんがボランティアを始めて約30年。その溢れる熱意は少しも衰えることがなく、むしろ未来に向かってますます輝きを増しています。今後も地域の子育て支援を中心にその活躍が期待されます。



ボランティア募集中！

市外の情報

継続

さくら苑【桜が丘】

特養でのお話し相手

特別養護老人ホームでお年寄りの話し相手や手芸や園芸などの補助ボランティア

- ◆日 程 何曜日の何時からでもOK
- ◆場 所 さくら苑
(桜が丘2-122-4)
- ◆人 数 多数
- ◆問合せ 042-564-3939
担当：茂呂・中谷・武本

高齢

継続

グループホームそよ風【向原】

小物作りのお手伝い

高齢者施設で牛乳パックを使った小物作りを一緒にお手伝いしてくれるボランティア

- ◆日 程 月・水・金・土・日の午後
- ◆場 所 グループホームそよ風
(向原4-19-1)
- ◆人 数 各曜日2人くらい
- ◆問合せ 042-566-6695
担当：高橋・水島・内藤

高齢

継続

デイサービスえんどうまめ

【立野】

趣味活動のお手伝い・調理補助

高齢者施設で趣味活動の見守りやお手伝い、調理補助のボランティア

- ◆日 程 趣味活動の見守り等→月・木・土の14:00~16:00
調理補助 →火・金の11:30~13:00
- ◆場 所 デイサービスえんどうまめ
(立野2-4-12みつきの101)
- ◆人 数 各曜日に1人ずつ
- ◆その他 調理補助は高齢者と一緒にお昼を食べます
- ◆問合せ 042-565-9778
担当：大辻・藤井

高齢

継続

市内高齢者施設【市内】

習字のお手伝い

高齢者施設で習字を行う際のボランティア

- ◆日 程 各施設による
- ◆場 所 市内の高齢者施設
- ◆人 数 各施設による
- ◆その他 特になし
- ◆問合せ 東大和ボランティア・市民活動センター
042-564-0035
担当：山崎

高齢

継続

あとリエトントン【南街】

調理補助

精神障害者の就労支援施設での調理補助ボランティア

- ◆日 程 月・火・水・木
10:00~13:00
- ◆場 所 あとリエトントン
(南街5-69-6-101)
- ◆人 数 特になし
- ◆その他 単発でもOK
- ◆問合せ 042-566-3920

障害

継続

玉川上水保育園【桜が丘】

子どもと遊ぶ

保育園で子どもと一緒に遊んだり、環境整備のお手伝いのボランティア

- ◆日 程 9:00~13:00又は9:00~17:00
- ◆場 所 玉川上水保育園
(桜が丘4-29-18)
- ◆その他 持ち物：活動しやすい服装、運動靴・うわばき・エプロン・ハンドタオル
- ◆問合せ 042-566-8670
担当 三上

子ども

継続**れんげ学園【芋窪】****小・中学生の学習ボランティア**

れんげ学園で小学校高学年～中学生
の学習指導（英・数・国）

- ◆日 程 週1回1時間程度、応相談
- ◆場 所 れんげ学園
(芋窪5-1161-3)
- ◆人 数 特になし
- ◆問合せ 042-565-8451
福田・西本

子ども

**市外の情報****研修****障がい児・者 ボランティア養成講座****【武蔵村山市】**

- 障がい児・者ボラ養成講座
車イス、点字、手話など障がい者に関わるこ
とを幅広く専門的に学ぶ講座
- ◆日 程 講座1→8月に4回と
10月に1回
講座2→9月に1回、11月に1回、
12月に1回 開催される
 - ◆場 所 東京都立村山特別支援学校
(武蔵村山市学園4-8)
 - ◆人 数 特になし
 - ◆その他 申し込みに期限があります。締
切り7月13日（水）まで。
チラシが社協に置いてあります。
 - ◆問合せ 042-564-2781

単発**サマーキャンプボランティア****【長野】**

- キャンプのお手伝い
南信州のキャンプ場で子どもを支援するボ
ランティア
- ◆日 程 7月と8月に随時実施
 - ◆場 所 伊那谷こども村
 - ◆人 数 600名
 - ◆その他 申し込みに期限があります。
2次締切り6月23日（木）まで。
社協にチラシが置いてあります。
又はインターネット「www.kodomomura.jp」
で検索すると詳しい情報が見られます。
 - ◆問合せ 0265-25-3744
(土日祝はお休み)

「夏！体験ボランティア」参加者を募集します。

7月25日（月）～8月31日（水）までの数日程度、高齢者・障害者施設、保
育園等でのボランティア体験をしてみませんか。参加者を募集しています。詳しい
詳細は次号の「たまボラ」に掲載いたしますので、ご参照ください。

※掲載内容が予告なく変更または募集締め切りとなる場合があります。ご了承ください。

※このコーナーに掲載を希望する方はご連絡ください。 TEL042-564-0035 担当 山崎



市民情報etc

- 内 容：来て！見て！作って！
作業所作品販売・模擬店
押し花体験・陶芸体験
ハンドプレート等
日 時：6月26日 10時～14時
場 所：第二みんなの家
(東大和市奈良橋1-276-2)
問合せ：042-567-0267
- 内 容：平成28年度手・指の会講演会
「盲ろう者として生きるということ」
日 時：7月3日(日)
午後1時30分～3時30分
場 所：東大和市中心公民館ホール
講 師：福田 暁子氏
全盲ろう・車イス・内部障害の女
性。世界盲ろう者連盟事務局長
※手話通訳・文字通訳付き
問合せ：TEL/FAX
042-564-9030
杉浦 節子



- 内 容：「賢治の家」
無料学習支援室 補修から高校入
試まで。
日 時：毎週 月曜日(清原市民センター)
毎週 金曜日(向原市民センター)
対 象：小学生・中学生
※経済的な理由で商業的な学習室に
通えない小・中学生対象
教 科：小学生/全科
中学生/英語・数学
費 用：参加費・教材費無料
講 師：元都立高校教師他
問合せ：主催団体「東大和市レクリエーショ
ン協会」
(東大和市向原6-936-10コー
ポエイコ205)
電 話：090-3903-0736(高木・飯坂)

このコーナーは登録ボランティアグループ
や市内の福祉団体・施設などのイベント情
報などをお伝えします。掲載希望の団体は、
東大和市社会福祉協議会たまボラ編集部
までご連絡ください。

☎042-564-0035 センター長 鎌田
担当 山崎

編集部から

ついに我が東大和のボランティア・市民活動センターのボランティア通信「たまボラ」を始める
ことになりました。ボランティアをやりたい！ボランティアをお願いしたい！といった市民の方々
にたくさんの情報をお伝えしていければと思っております。

市民のみなさまに分かりやすく関心を持って読んでいただけるような通信を職員一同で作ってい
きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。少々余談になりますが、編集後
記を担当している私、山崎は、この春から入職した社協職員1年目。たまボラも今年度から新しく
始まる取り組みということで、どこか親しみを感じています・・・。「たまボラ」も私もこれから

成長していきたいと思っておりますので、みなさまどうぞよろしくお願いいたします！また、
何か「たまボラ」についてご意見、ご感想がありましたらボランティア・市
民活動センターまでお寄せいただければ幸いです。

